

# 交通安全

9月21日から30日まで、秋の全国交通安全運動が行われました。期間中は、交通安全推進指導員、役場職員を中心に学校周辺や通学路の横断歩道で街頭指導を行い、児童・生徒の安全確保をしました。また、広報車・パトカーによる巡回督励も行われました。



■チラシと反射材を配布 (21日、ツルヤ立科店)



■交通指導所を開設 (24日、浅科道の駅)



いて学びました。

夜間における高齢者交通安全教室  
28日、老人クラブ連合会長に参加いただき、佐久川西自動車学校で開催しました。  
夜間のコースを利用し、車両のテールランプの高さや明るさによって遠近感が不正確になることや、車のライトの角度によって横断する歩行者が全く見えなくなる蒸発現象など、夜間の視認特性について学びました。

シートベルト着用調査  
24日、国道142号芦田信号機で調査した結果、運転席と助手席の総着用率は95%でした。後部座席は未着用が見受けられます。万が一の事故の際、被害を最小限にするためにしっかりと着用しましょう。

## チャイルドシートの肩ベルトの調整を忘れずに!!

子どもがチャイルドシートから抜け出し、チャイルドシートの肩ベルトが首にかけて負傷する事故が発生しました

店舗駐車場において、子ども(月齢11ヶ月)をチャイルドシートに乗せたまま車を離れ、その後車に戻ると、子どもの体がチャイルドシートの外に出て、肩ベルトが首にかかり、命に関わる危険な状態となりました。

- 肩ベルトがお子さんの身体にフィットしているかきちんと確認しましょう。
- 肩ベルトの高さは、お子さんの成長に合わせて調節しましょう。
- お子さんを乗せる度、必ず肩ベルトの緩みを取り、お子さんの身体にフィットするように肩ベルトの長さを調節しましょう。



小さなお子さんを車内に一人にするのは危険ですので、くれぐれもお子様を置いて車から離れないでください。